

20世紀半ばのリヨネ地方の方言における 普通名詞の単数形、複数形

—ラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞について—

於：日本ロマンス語学会第59回大会 5月16日（日）

東京外国語大学 博士後期課程

大河原香穂

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/5/5b/Lyon_part_dieu.JPG (remixed)

目次

- はじめに
- 先行研究
- リサーチクエスチョン
- 研究手法
- 分析結果
- 議論
- 結論
- 参考文献

はじめに：研究テーマ

フランコプロヴァンス語地域における 名詞の単数、複数の区別

- ➡ 本研究ではフランコプロヴァンス語地域のうち
特にリヨネ地方を中心とする地域の方言における
ラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞を扱う

はじめに：フランコプロヴァンス語地域とは

- 地理的範囲

- ✓ フランス、スイス、イタリアの3か国にまたがる地域

北はオイル語地域 Langue d'oïl、南はオック語地域 Occitan と接する

- 言語的特徴

- ✓ 複数種類の語末の無強勢母音を持つ

⇔ 北に接するオイル語地域

語末の無強勢母音は9世紀から16世紀にかけて[a]となりその後無音化



オイル語との大きな違い

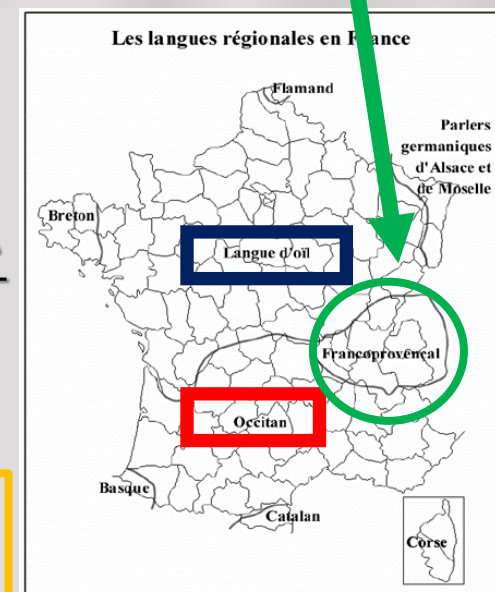
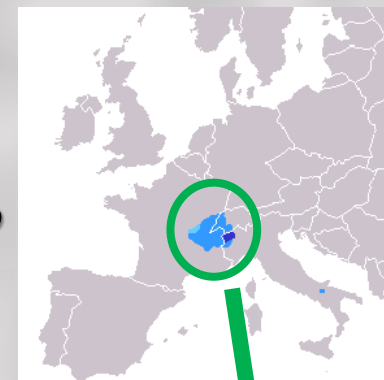
語末の無強勢母音の音色によって性や数、動詞の人称を区別

例：現代の標準フランス語の女性名詞 vache 「雌牛」に該当する語

sg.
[vatsi]

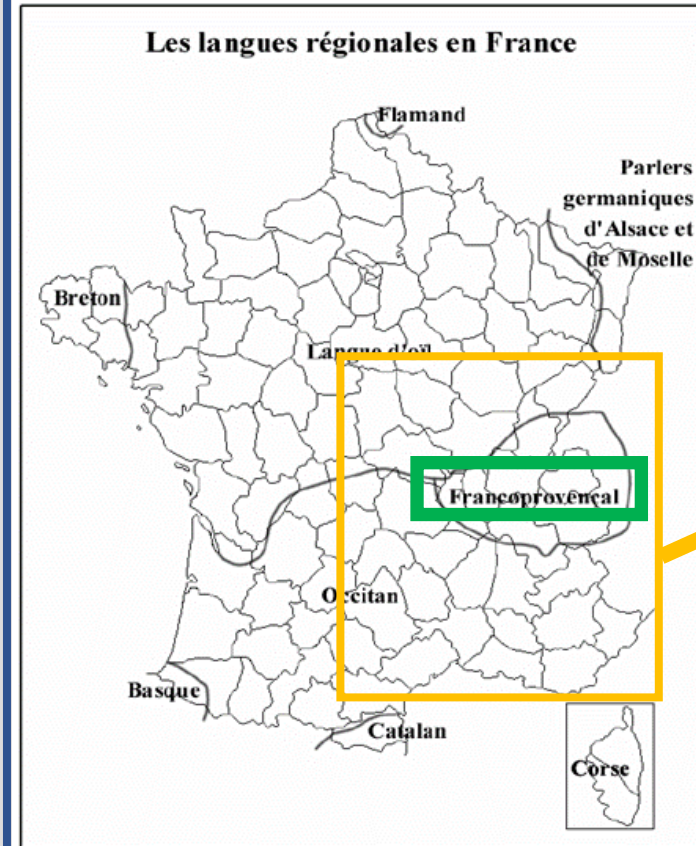
pl.
[vatse]

単数形 [-i]、複数形 [-e] という対立によって
単数、複数の区別を行っていると考えられる

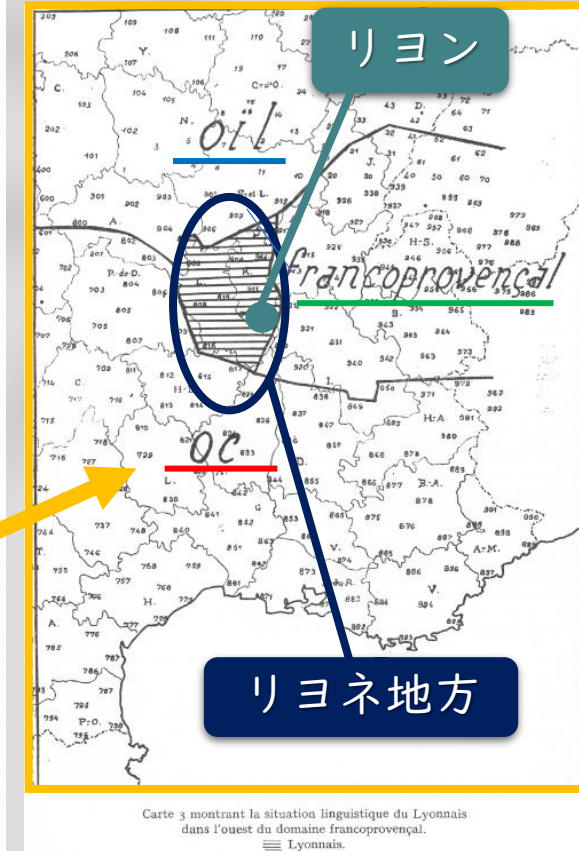


はじめに： リヨネ地方（フォレ地方を含む）とは？

- Gardette (1968 : 13-20)
- 言語的に一つのまとまりを成す地域
フランコプロヴァンス語地域の最西端地域
北部・北西部はオイル語地域と接する
西部・南部はオック語地域と接する
- 地理的に一つのまとまりを成す地域
ローヌ県、ロワール県に該当
(=大都市リヨンを含む)
西側には山、東側には川が存在し、ほかの
地域と隔てている
- 歴史的に古くからまとまりを成して
いる地域



Bert et al. (2009 : 13)



Gardette (1968 : 17)

はじめに：リヨネ地方における言語状況

退化した
フランコプロヴァンス語地域

フランコプロヴァンス語地域に該当するが...

□ フランコプロヴァンス語的特徴が薄い

● リヨネ地方にある大都市リヨン

14世紀には既に公的な文書作成の際にフランコプロヴァンス語の代わりにフランス語を使用

Bert et al. (2009 : 18)

● リヨネ地方北部は「退化したフランコプロヴァンス語地域」と呼ばれる箇所

「退化したフランコプロヴァンス語地域

le francoprovençal dégradé」

右図の赤丸で囲まれた地域が該当

この地域では1世紀と少々前からフランコプロヴァンス語的特徴が崩壊

Tuailon (2007 : 56)



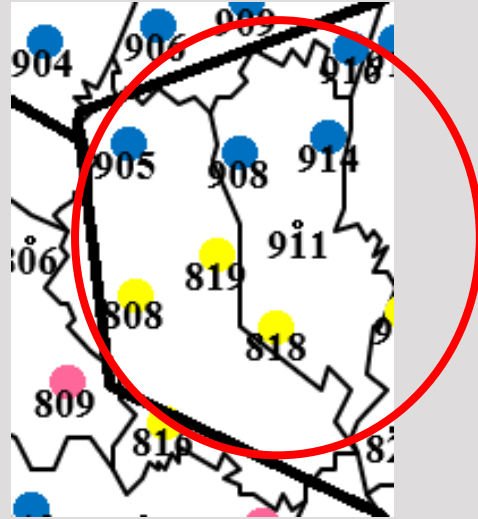
Tuailon (1986 : 69)

先行研究：フランコプロヴァンス語地域全体における 普通名詞の単数形、複数形についての研究

- 大河原 (2021) (TUFSSグローバル・スタディーズ学会における口頭発表)
19世紀末から20世紀初頭にかけての方言データの『フランス言語地図』*Atlas linguistique de la France* (以下ALF) を用いた分析

□ リヨネ地方周辺に着目 ➡ 語源のラテン語の曲用によって様相が異なる

例：oreille「耳」の地図
(第1曲用名詞起源)

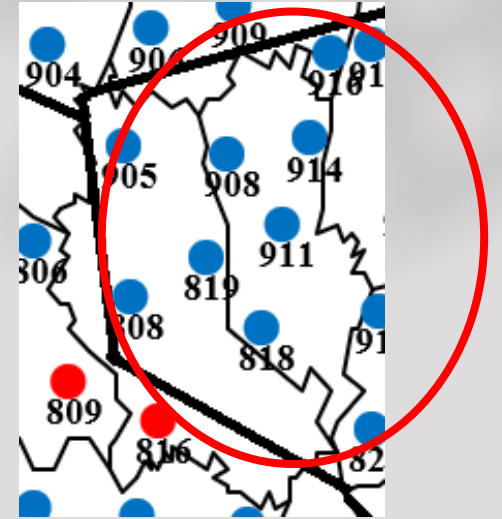


語源のラテン語が第1曲用名詞の場合

北部：● sg. = pl.

南部：● sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/[-ø]

例：genou「膝」の地図
(第2曲用名詞起源)



語源のラテン語が第2・4曲用名詞の場合

全体：● sg. = pl.

➡ フランコプロヴァンス語的特徴が薄いと考えられる地域だが、**語末の母音の音色の
対立による名詞の単数、複数の対立**が確認

先行研究：『地方別言語地図』を使用することのメリット

- ALFにおける問題点の解決

➡ ALLy（本研究で使用するリヨネ地方周辺の地域別言語地図）では入念に事前調査を行い地域に特徴的な語彙を扱っている

Séguy (1973 : 68, 76-78), Gardette (1968 : 30-40)

- より細分化した地域における詳細な分析が可能

例：リヨネ地方（ローヌ県、ロワール県）

ALFにおける地点数：8地点

VS

ALLyにおける地点数：44地点

➡ データ数も多く、より詳細な分析が可能

- 約半世紀間の経年変化が確認可能

例：ALFの調査期間＝1897年～1901年 vs ALLyの調査期間＝1945年～1948年

- 地方別言語地図を用いて名詞の数の区別を分析した研究は過去に存在しない

リサーチクエスチョン

□ 20世紀半ばのリヨネ地域の方言におけるラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞の単数、複数の区別の様相は、ALFにおける様相と同様であったのか？

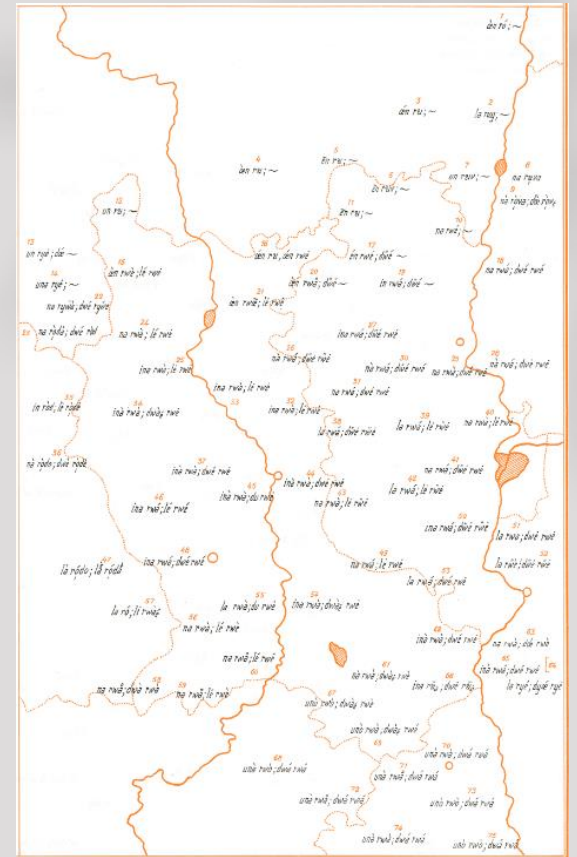
- ※ 「20世紀半ば」という期間の限定
＝分析に使用する方言データがこの期間に採取されたデータであるため
- ※ 「ラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞」という制限
＝対照しやすくするため
- ※ ALFにおける様相
＝大河原 (2021)で得られた分析結果

研究手法：分析対象の資料

● 『リヨネ地方言語民族誌地図』

Atlas linguistique et ethnographique du Lyonnais (以下ALLy)

地方別言語地図の 発案者	Albert Dauzat
作成者・調査者	Pierre Gardette, Paulette Durdilly, Simone Escoffier, Anne-Marie Vurpas, Henri Girodet, Marguerite Gonon
地域	リヨネ地方を中心とする地域 (ローヌ県、ロワール県全域とソーヌ＝エ＝ロワール県、 アン県、イゼール県、ピュイ＝ド＝ドーム県、 オート＝ロワール県、アルデーシュ県の一部)
地点数	75地点
調査時期	1945年～1948年
地図の枚数	1320枚



Gardette (1968 : 9, 65-82, 141-163) 例 : roue 「車輪」の地図

※ webサイトからも閲覧可能 (<https://www.ucly.fr/ally-en-ligne/>)

研究手法：分析対象の地理的範囲

● ALLyで扱っている全75地点

→ 本来のリヨネ地方に該当するローヌ県、ロワール県
+

周辺のソーヌ＝エ＝ロワール県、アン県、イゼール県、
ピュイ＝ド＝ドーム県、オート＝ロワール県、
アルデーシュ県の一部

Gardette (1968 : 13-28)

■ このうち...

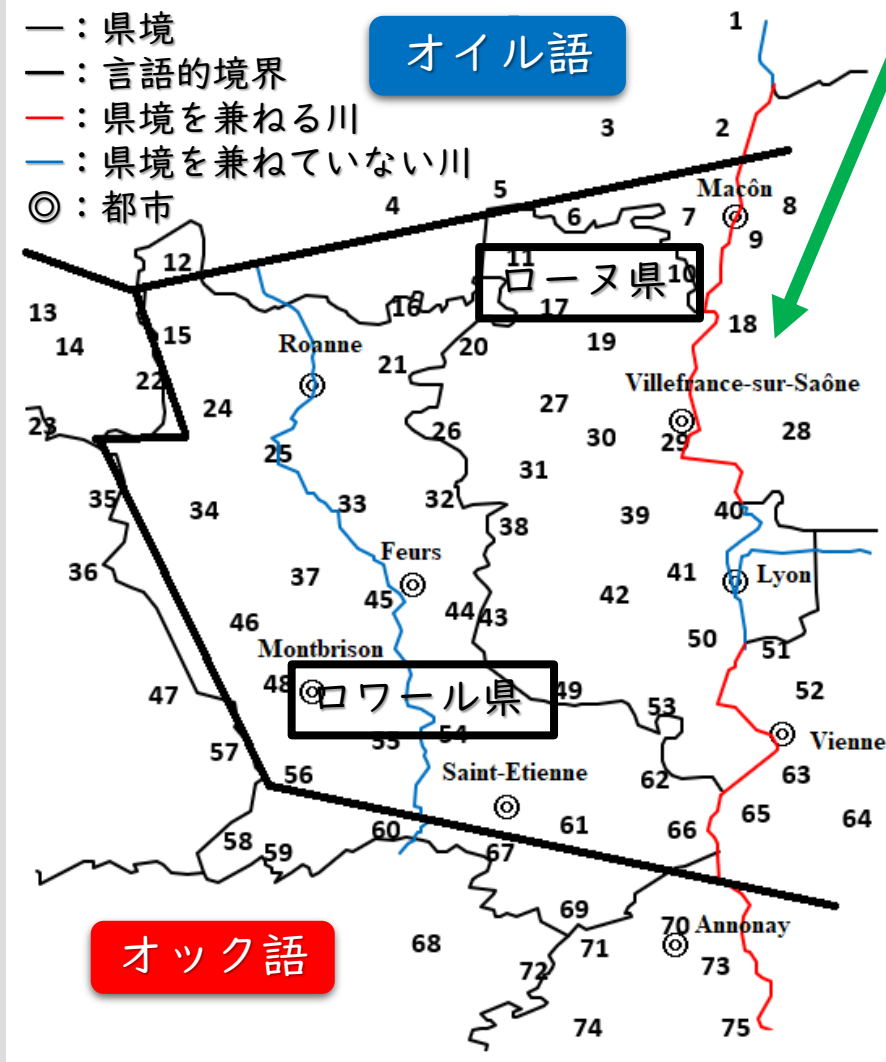
49地点がフランコプロヴァンス語地域内

6地点がオイル語地域内

20地点がオック語地域内

フランコプロヴァンス語

オイル語



言語区分はGardette (1983 : 305, 333-337, 341)を参照

研究手法：分析対象の地図と語

- ラテン語の第1曲用名詞を語源に持つ以下の4つの地図・語

ALLyにおける地図	対応する現代の標準フランス語	語源のラテン語の主格単数形
ALLy174 une roue ; deux roues	roue f. 「車輪」	ROTA f. 「円、輪」
ALLy360 une oie ; des oies	oie f. 「ガチョウ」	AUCA f. 「ガチョウ」
ALLy686 une tuile ; des tuiles	tuile f. 「瓦」	TEGULA f. 「瓦」
ALLy1097 les ongles ; un ongle	ongle m. 「爪」	UNGULA f. 「蹄、爪」



※ 語源については『フランス語語源辞典』*Französisches Etymologisches Wörterbuch*とGardette (1976)を参照

これらの地図・語を選択する際に重視した3つの条件

1. 1枚の言語地図で単数形、複数形双方の語形を確認できる
2. ラテン語の第1曲用名詞を語源に持つ普通名詞
3. 分析対象の地点における全ての語形が同一の語を語源に持つ
(※ALFで分析した語とは異なる語を扱う)

研究手法：具体的な分析手法

1. 分析対象の地図ごとに各地点において...

単数形と複数形が音声的に同じ形態なのか
異なる形態なのかを確認し地点を分類

2. 単数形と複数形が音声的に異なる形態である地点の場合...

両者をどのように区別しているのかを確認 ➡ 区別の方法ごとに地点を分類

➡ 本研究における分類は大河原 (2021)における分類を一部参考

● : sg. = pl. ● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-φ ● : sg. [-a] pl. [-e] ● : sg. [-o] pl. [-a]
- : 単数形または複数形の欠如 (単数形と複数形のうちどちらか一方しか見られない)
? : 単数形と複数形双方とも確認されない地点 ・ : その他

3. 分類に従って各地点に分類記号を表示

➡ Excelの散布図機能を用いて地図としてプロットして分析

※ ALFではルスロ＝ジリエロン音声記号 Alphabet Rousselot-Gilliéronが使用されているが、本研究ではLe projet SYMILAのwebページを参照して国際音声学記号 International Phonetic Alphabet (以下IPA)に変換しているため、以下音声記号としてIPAを用いる (<http://symila.univ-tlse2.fr/>)

※ 第2形、第3形と複数の語形が見られた地点については、第1形を採用した

※ 音声的類似から[-ɛ]は[-e]、[-ɑ]は[-a]、[-ɔ]は[-o]として扱っている

分析結果①

- **南部**では全ての地図について**ALFと類似の結果**が得られた

➡ sg. [-a] / [-i] pl. [-ə]という対立の地点が多く見られた
(一部例外的な地点が存在)

- **北部**では地図によって結果が異なっていた

- ✓ roue 「車輪」、tuile 「瓦」

ALFと類似して**sg. = pl. の地点**が多く見られた

- ✓ oie 「ガチョウ」、ongle 「爪」

ALFとは異なり**「単数形または複数形の欠如」**に分類されると考えられる
地点が多く見られた

分析結果②

□ roue 「車輪」、tuile 「瓦」

■ 北部

● : sg. = pl.の地点が集中

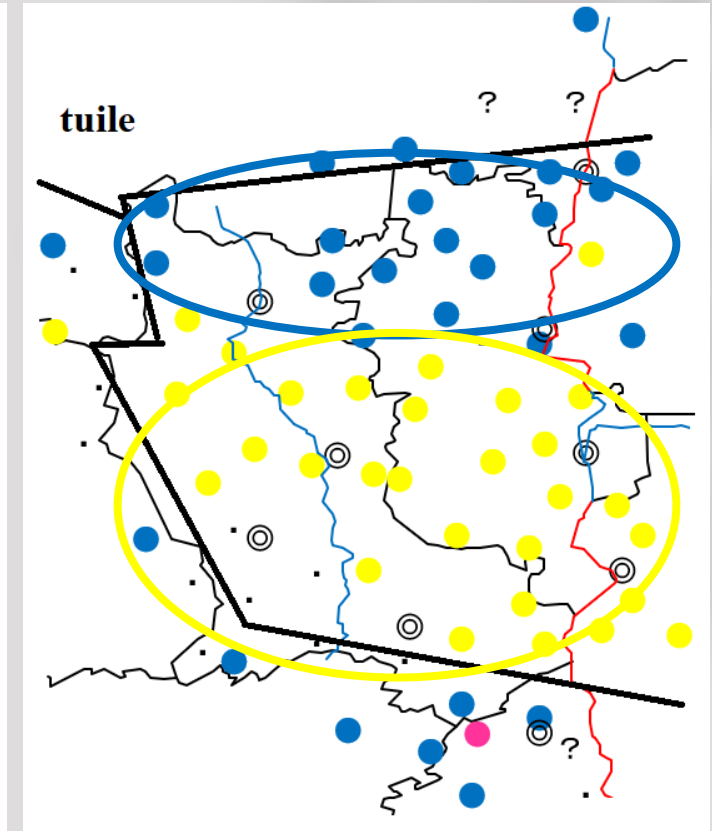
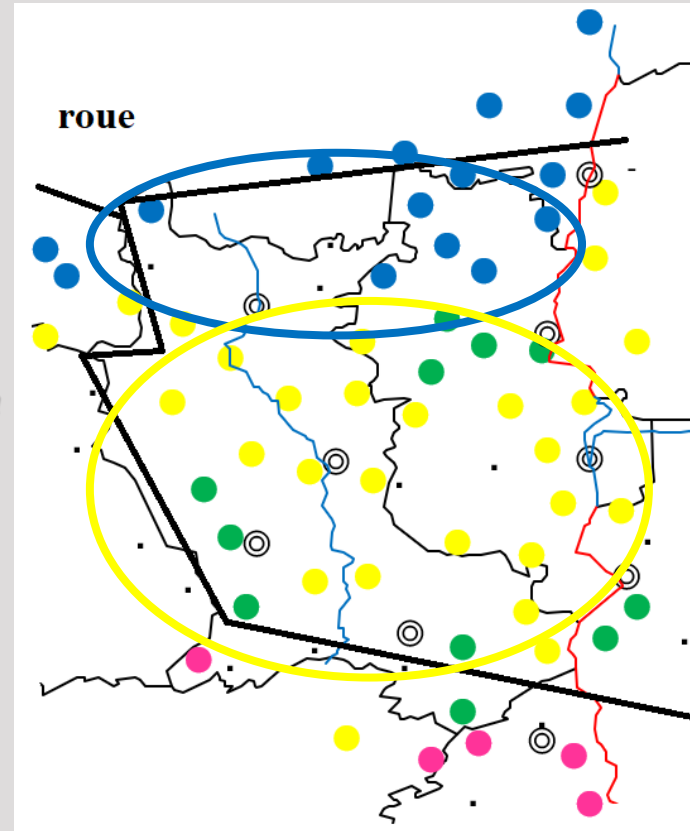
■ 南部

● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-φの地点が集中

✓ しかしroueの地図では一部異なる様相

➡ ● : sg. [-a] pl. [-e]が11地点確認
フランコプロヴァンス語地域に該当する地点は10地点

他の地図では1地点も見られない



● : sg. = pl. ● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-φ
● : sg. [-a] pl. [-e] ● : sg. [-o] pl. [-a]
- : 単数形または複数形の欠如
? : 単数形と複数形双方とも確認されない地点
・ : その他

— : 県境
— : 言語的境界
— : 県境を兼ねる川
— : 県境を兼ねていない川
◎ : 都市

分析結果③

□ oie 「ガチョウ」、ongle 「爪」

■ 北部

- : 単数形または複数形の欠如が集中

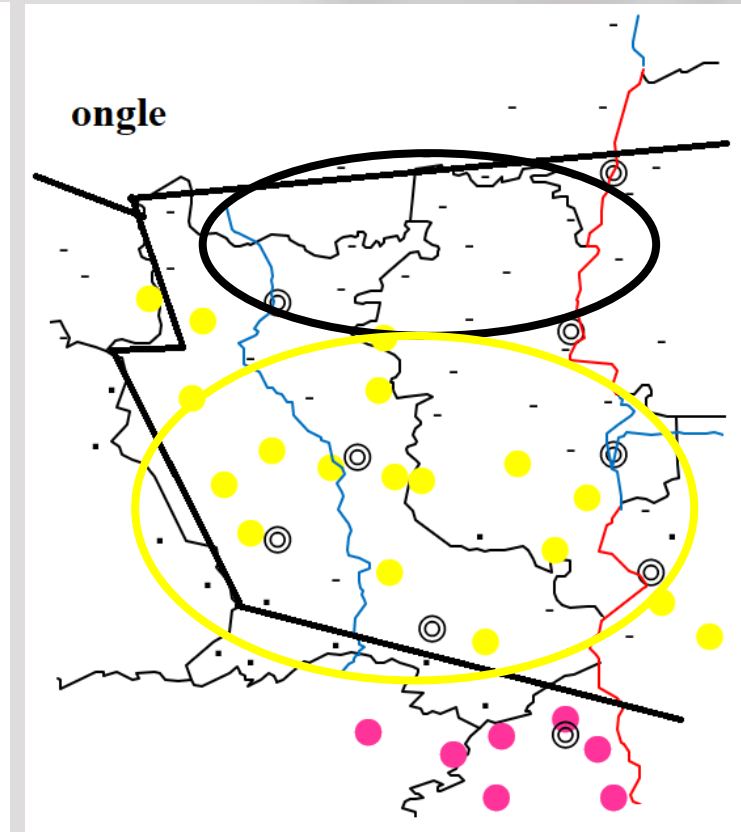
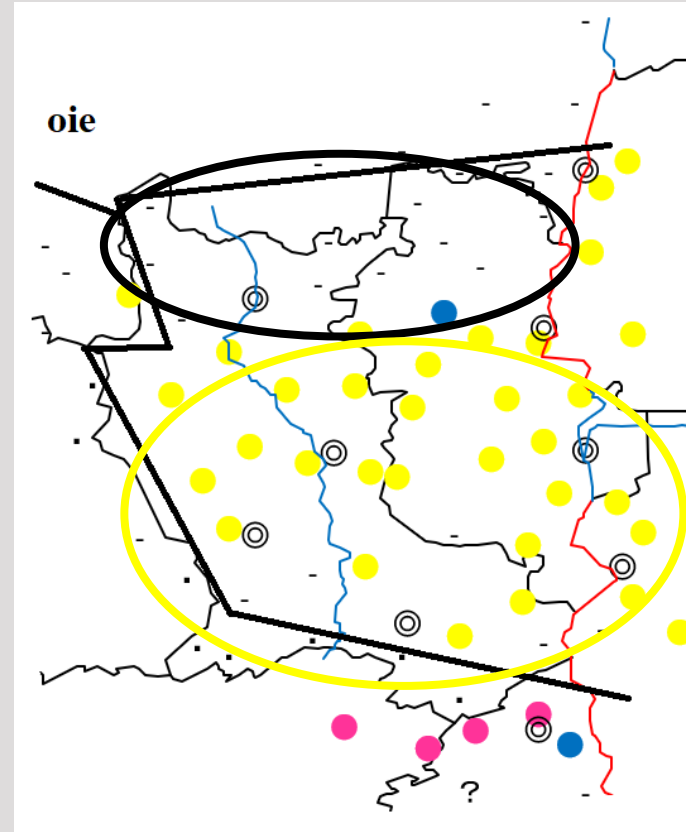
- ・ ongleの地図については明確に...
あちこちで単数形を収録しなかった
Gardette (1956)
という記述はあるが正確な理由は不明
- ・ oieの地図については特に記述なし

理由として考えられるもの

- 単数形と複数形が音声的に同形で片方しか記述しなかった？
- 日常的に複数形しか使用せず、話者は単数形を認識していない？

■ 南部

● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-φの地点が集中



- : sg. = pl. ● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-φ
- : sg. [-o] pl. [-a]
- : 単数形または複数形の欠如
- ? : 単数形と複数形双方とも確認されない地点
- ・ : その他

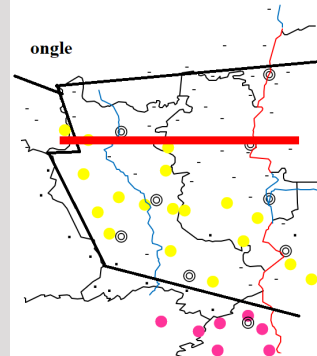
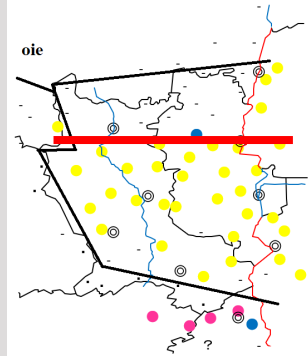
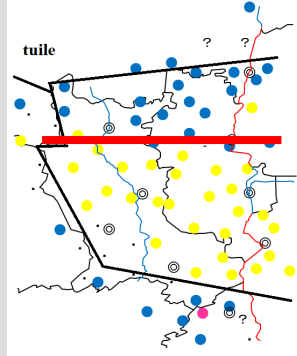
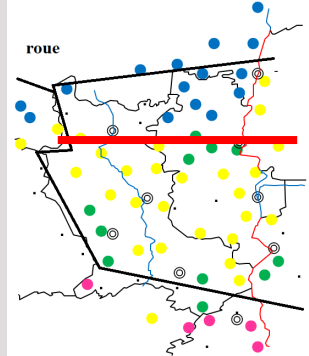
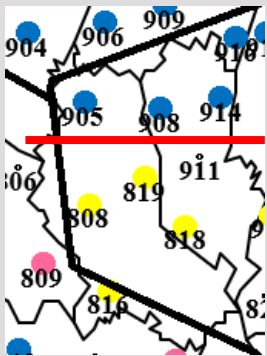
- : 県境
- : 言語的境界
- : 県境を兼ねる川
- : 県境を兼ねていない川
- ◎ : 都市

議論：「退化したフランコプロヴァンス語地域」

● 分析結果から「退化したフランコプロヴァンス語地域」の領域が浮き彫りになった

◆ 大河原 (2021)でのALFの分析の段階では明白とは言い難かった

◆ しかし今回ALLyを分析したことでより明白になった



ALFの
oreille「耳」

本研究で分析したALLyの4枚の地図

➡ ラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞の単数、複数の区別についても、「退化したフランコプロヴァンス語地域」は**周囲と一線を画している**ことがわかる



Tuailon (1986 : 69)

議論：フランコプロヴァンス語地域とオック語地域との境界

- 分析結果からフランコプロヴァンス語地域とオック語地域の境界線が浮き彫りになった

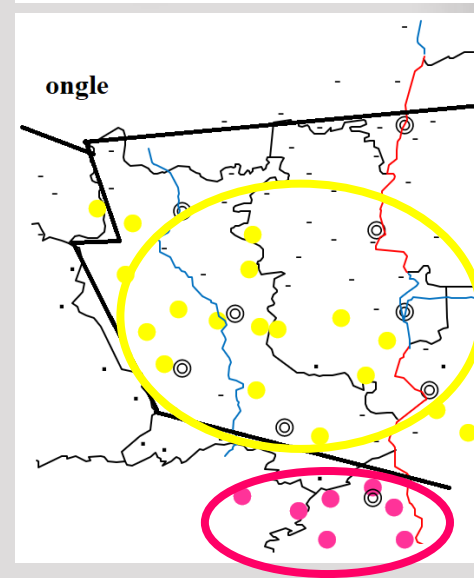
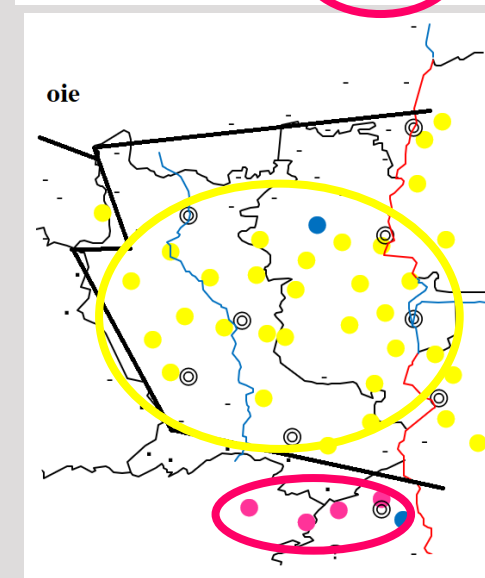
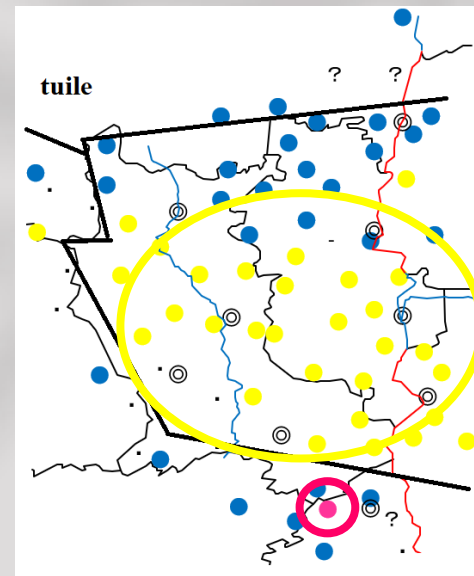
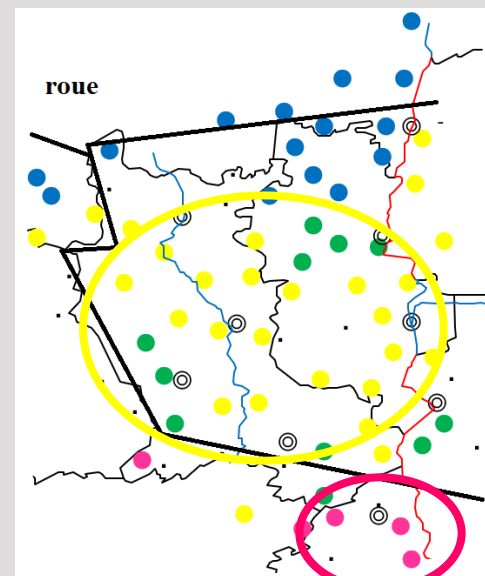
- ◆ ● : sg. [-a]/[-i] pl. [-ə]/-∅
殆どフランコプロヴァンス語地域内で見られない

➡ リヨネ地方南部周辺における固有の特徴か？

- ◆ ● : sg. [-o] pl. [-a]の地点
オック語地域内で見られない

➡ sg. [-o] pl. [-a]という対立はオック語的対立

Tuaillon (2007 : 66-67)



結論：リサーチクエスチョンへの回答と総括

- リサーチクエスチョンに対する回答

Q. 20世紀半ばのリヨネ地域の方言におけるラテン語の第1曲用名詞起源の普通名詞の単数、複数の区別の様相は、ALFにおける様相と同様であったのか？

A. リヨネ地方周辺の南部では全ての地図についてALFと類似の結果が得られた
sg. [-a] / [-i] pl. [-ə]という対立の地点が多く見られた

北部では地図によって結果が異なっていた

roue 「車輪」、tuile 「瓦」

ALFと類似してにsg. = pl. の地点が多く見られた

oie 「ガチョウ」、ongle 「爪」

ALFとは異なり「単数形または複数形の欠如」の地点が多く見られた

➡ oieとongleの地図の北部を除いてALFにおける分析結果とALLyにおける分析結果に大きな相違はないため、半世紀で経年変化があったとは考え難い

結論：議論のまとめと今後の課題

- 議論のまとめ

- 分析結果から「退化したフランコプロヴァンス語地域」le francoprovençal dégradéの境界線が浮き彫りになった
- 分析結果からフランコプロヴァンス語地域とオック語地域の境界線が浮き彫りになった

- 今後の課題

- roue「車輪」の地図で見られるsg. [-a] pl. [-e]の地点
- ALLyを用いてラテン語の他の曲用の名詞起源の普通名詞について分析
- 各地点における音声変化を踏まえた詳細な分析

参考文献①

- BERT, M. et al. (2009). *ETUDE FORA : Francoprovençal et Occitan en Rhône-Alpes*, Lyon : Université Catholique de Lyon.
- GARDETTE, P. et al. (1950-1976). *Atlas linguistique et ethnographique du Lyonnais*, Paris : Editions du CNRS.
- GARDETTE, P. (1983). *Études de géographie linguistique*, Paris : Klincksieck.
- GILLIÉRON, J. et al. (1902-1910). *Atlas linguistique de la France*, Paris : Honoré Champion.
- GILLIÉRON, J. et al. (1902). *Atlas linguistique de la France : Notice servant à l'intelligence des cartes*, Paris : Honoré Champion.
- SÉGUY J. (1973). « Les Atlas linguistiques de la France par régions », *Langue française* 18, Malakoff : Armand Colin.
- TUAILLON, G. (1972). *Le Francoprovençal : Progrès d'une définition*, Aoste : Saint-Nicolas.
- TUAILLON, G. (2007). *Francoprovençal*, Aoste : Musumeci.
- VON WARTBURG, W. et al. (1922-1967), *Französisches etymologisches Wörterbuch; eine Darstellung des galloromanischen Sprachschatzes*. Basel : Zbinden Druck und Verlag .

参考文献②

大河原 (2021). 「フランコプロヴァンス語地域における普通名詞の数の体系—ラテン語の第2曲用の名詞を語源に持つ普通名詞に着目して—」, 『ふらんぼー46号』, 東京外国語大学フランス語学科研究室フランス研究会.

大河原 (投稿中). 「フランコプロヴァンス語における普通名詞の単数形、複数形—ラテン語の第1曲用の女性名詞を語源に持つ語について—」, 『ロマンス語研究第54号』, 日本ロマンス語学会.

口頭発表

大河原 (2021). 「フランコプロヴァンス語地域における名詞の数の体系—*Atlas linguistique de la France* 『フランス言語地図』を用いた分析—」, TUFSSグローバルスタディーズ第1回大会, 2021年3月14日開催.

Webページ

Le projet SYMILA (<http://symila.univ-tlse2.fr/>)

ご清聴ありがとうございました